

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] JCOG1110-A 根治手術が実施された上部尿路癌におけるリンパ節郭清術の意義と術後の膀胱再発に関する調査研究

[研究機関] 北海道大学病院泌尿器科

[研究責任者] 篠原 信雄（泌尿器科・准教授）

[研究の目的] 上部尿路癌と診断され、根治手術が実施された患者さんを対象に、リンパ節郭清術の予後改善効果、術後の膀胱内再発の有無を調査するため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

遠隔転移のない上部尿路癌の患者さんで、平成7年1月から平成21年12月の間に腎尿管全摘術を受けた患者さん

●利用するカルテ情報

患者情報：手術日、手術時年齢、性別、喫煙の有無、膀胱癌の既往

術前情報：術前尿細胞診、患側カテーテル尿細胞診、膀胱癌同時併発の有無、腫瘍部位と個数

術式：施行術式、リンパ節郭清部位

摘出標本病理：腫瘍部位と個数、腫瘍最大径、pT、pN（摘出リンパ節数、陽性数の

詳細）CIS 併発の有無、腎実質浸潤の有無、異型度、外科的断端、陽性リンパ節

術後情報：術後全身化学療法と術後放射線治療の有無・詳細、術後予防的膀胱内注入療法の有無・詳細

予後情報：Ta、Tis または T1、T2 以上の膀胱内再発の有無・詳細、膀胱内再発有りの場合初回再発時膀胱腫瘍の異型度と最も高い異型度、膀胱全摘術の有無・詳細、対側上部尿路癌発生の有無・詳細、初回のリンパ節転移・局所再発・遠隔転移の有無・詳細、転帰について)

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院泌尿器科 担当医師 篠原 信雄

電話 011-706-1161 FAX 011-706-7853